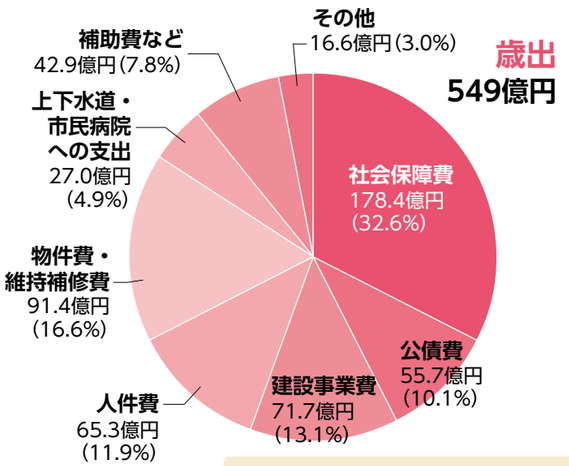
令和7年度
決算報告

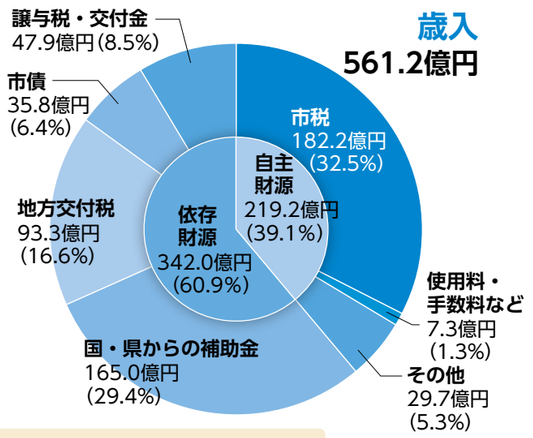
決算のあらましと市の財政状況

令和7年度（令和7年4月～令和8年3月）の決算についてお知らせします。

問い合わせ
財政課　☎24・8144

●一般会計の決算　※（　）内は構成比





歳入歳出差引：12.2億円　翌年度繰越財源：4.0億円　実質収支：8.2億円

令和7年度決算の特徴

歳入では、所得向上による個人市民税の増額や、令和6年度に実施された定額減税の終了などの影響により、市税は15・7億円の増額となりました。一方、建設事業や企業立地助成の減少に伴い、財源となる市債や繰入金などが減額したことで、歳入総額は12・1億円の減額となり、歳入総額は、561・2億円の決算額となりました。

歳出では、人事院勧告による人件費の増額や社会保障費の伸びのほか、賃上げ・物価上昇により委託料なども増額しましたが、投資的経費が減少した影響から、歳出全体では14億円の減額となり、歳出総額は549億円となりました。国や県の補助金の有効活用や効率的な予算執行に努めた結果、実質収支は8・2億円の黒字となりました。

●世界に時めく日本海側の拠点都市こまつ
・利便性向上に向けた乗津駅周辺整備

●ものづくりが誇りの産業創生都市こまつ
・企業誘致活動の推進
・小松駅東地区複合ビルオフィスフロア運営

●子どもたちの輝く未来創造都市こまつ
・小中学生のタブレット端末更新

●誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ
・消防指令システムの高機能化

●自然が映え文化が息づくふるさとこまつ
・團十郎芸術劇場うらら改修に向けた実施設計

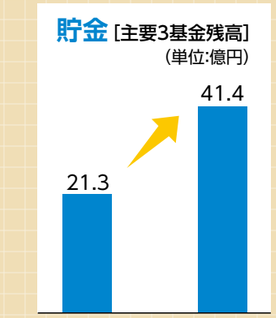
●ワンランク上の生活空間あふれるこまつ
・未来型図書館づくりの推進
・末広体育館リニューアル

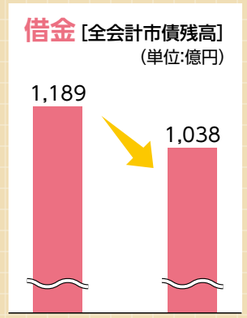
市の借金残高・貯金残高

令和7年度の市の借金（市債残高）は、繰上返済を行うなど前年度より約8億円改善し、全会計で約1038億円となりました。

貯金（主要3基金・決算積立後）は、年度間の財源調整などのために確保しており、令和7年度末の残高は、41・4億円となっています。

※主要3基金とは、財政調整基金、地域経済活性化対策基金、減債基金の3基金のことです。

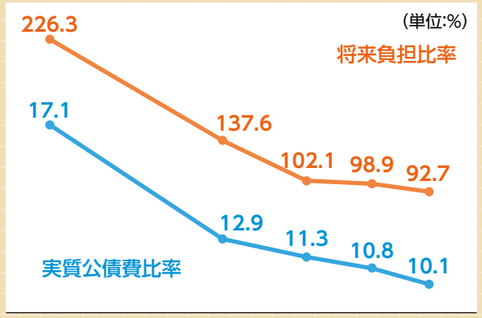




健全化判断比率の状況

健全化判断比率の指標については、実質公債比率が前年度比0・7ポイント改善して10・1％、将来負担比率が前年度比6・2ポイント改善して92・7％となりました。引き続き、健全な財政運営に努めます。

※実質公債費比率とは、収入額に対する借金返済額の割合のことで、将来負担比率は収入額に対して市が抱えている負債の割合のことです。




災害復旧（九竜橋川排水路）


消防指令システム高機能化


末広体育館リニューアル

特別会計と企業会計

市の会計には「一般会計」とは別に、国民健康保険や介護保険などの特定の事業を運営する「特別会計」と、病院や水道など民間企業のように事業収益を集めて運営する「企業会計」があります。

※企業会計では、資本的収支の不足分を、事業を運営して生じる純利益と現金支出を伴わない費用から生じる内部留保資金で補っています。

●特別会計（5会計）の決算

（単位:億円）

会計名	収入	支出	差引
国民健康保険	89.8	89.8	-
介護保険	104.5	102.7	1.8
後期高齢者医療	21.5	21.5	-
産業団地	2.3	2.3	-
公債管理	64.8	64.8	-
合計	282.9	281.1	1.8

●企業会計（3会計）の決算

（単位:億円）

会計名	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
水道	27.2	23.3	3.9	3.6	12.7	▲9.1
下水道	39.6	40.6	▲1.0	49.1	64.6	▲15.5
市民病院	106.6	120.3	▲13.7	24.2	27.5	▲3.3
合計	173.4	184.2	▲10.8	76.9	104.8	▲27.9

収益的収支
1年間の営業結果を表します。

資本的収支
施設の建設や整備に関する収支です。